

# 政策シート 政策名 03 はままつ流の多様な暮らしに対応した「安全・安心・快適」な交通を目指して

## 予算費目名 01 交通政策推進費

### 1 基本情報

#### (1) 総合計画体系

分野 03 安全・安心・快適

理想の姿 (30年後)	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
政策の柱 (10年後)	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 03 市民が集う活力ある都市づくり

#### (2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

地域特性に対応し、過度に自動車に依存しない、公共交通を基軸とした交通行動への転換を図るための交通施策を複合的に実施することにより、安全・安心で快適に移動することができる都市づくりを進める。

- 交通計画推進事業  
都市交通に関する計画の策定及び事業の実施により円滑で利便性の高い交通サービスを提供する。
- 公共交通推進事業  
使いやすい公共交通ネットワークの構築を図り、市民生活に必要な移動サービスを提供する。
- 天竜浜名湖鉄道経営支援事業  
沿線住民の生活基盤となっている本鉄道を存続し、安定したサービスを提供するため、経営支援を行う。

#### (3) 関連するSDGsのゴール

①都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### 2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	455,455	528,318	691,088			
決算	427,847	506,458				
人件費(報酬等)(A)	854	277	651			
人件費(人工分)(B)	86,900	72,900	69,440			
年間経費(予算又は決算+A+B)	515,601	579,635	761,179			

### 3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
公共交通機関利用者数	万人	目標	5802	5802	5802	5802	5802	5,802
		実績	5138	R4.4頃確定				
主要な駅、バス停の利用者	千人	目標	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200
		実績	27,680	R4.4頃確定				
		目標						
		実績						

### 4 前年度(令和2年度)政策評価

#### (1) 前年度(令和2年度)実施内容

地域特性に対応し、過度に自動車に依存しない、公共交通を基軸とした交通行動への転換を図るための交通施策を複合的に実施することにより、安全・安心で快適に移動することができる都市づくりを進める。

- 交通計画推進事業  
都市交通に関する計画の策定及び事業の実施により円滑で利便性の高い交通サービスを提供する。
- 公共交通推進事業  
使いやすい公共交通ネットワークの構築を図り、市民生活に必要な移動サービスを提供する。
- 天竜浜名湖鉄道経営支援事業  
沿線住民の生活基盤となっている本鉄道を存続し、安定したサービスの提供のため、経営を支援する。

#### <進捗> 計画通り

- 交通計画推進事業  
・現在見直し中の浜松市都市計画マスタープランの将来都市構造への整合や公共交通を取り巻く新たな課題に対応するため、令和2年度の公表を目指し浜松市総合交通計画の見直しを進めた。
- 公共交通推進事業  
・地域公共交通網形成計画の策定に向け地域公共交通の現状について、問題点・課題の整理を行い、基本方針・目標の検討、目標の実現のための具体的な施策の検討を行った。
- ・地域バス及び公共交通空白地有償運送におけるICTシステム導入による実証運行を行った。継続して運行改善を行う。
- ・路線バス退出、減便に対し、代替による移動手段を確保した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	交通計画推進事業	○	○	○		29,137	8,886	2.8				651
2	公共交通推進事業	○	○	○		595,396	577,196	2.6				
3	天竜浜名湖鉄道経営支援事業	○	—	○		107,573	96,933	1.2			0.8	
4	交通政策推進運営経費（一般諸経費のみ）	—	—	—		29,073	8,073	3.0				
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						761,179	691,088	9.6			0.8	651

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

# 事業シート (事業名) 01 交通計画推進事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

本市の都市交通に関する調査、協議及び各種交通計画を策定するとともに、計画に基づく事業の実施により円滑で利便性の高い交通サービスを提供する。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H13	-	一般会計	自治事務(その他)	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律

### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	III-4(1)イ						
重点戦略	○	(戦略項目)	153						

### (4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑬気候変動								
事業とゴールの 関連性	都市交通に関する調査、協議及び各種交通計画を策定することで、円滑で利便性の高い交通サービスが提供でき、生活に必要な施設への移動手段を確保するとともに、安全で容易に利用できる持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。								

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	32,462	7,237	8,886			
	決算	32,462	4,182				
	国・県支出	4,026					
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	28,436	4,182	8,886			
人件費(報酬等)(A)		854	277	651			
人件費(人工分)(B)		33,600	27,300	19,600			
人工	正規	4.8	3.9	2.8			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		66,916	31,759	29,137			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
公共交通機関利用者数(万人)			目標	5802	5802	5802	5802	5802	5802
			実績	5138	R4.4項確定				
主要な駅、バス停の利用者(千人)	III-4(1)イ		目標	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200
			実績	27,680	R4.4項確定				
IT等を活用とした地域バスの実証 運行(地域)		153	目標	1	1	2	2	2	3
			実績	1	1				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 03 基本政策 03 政策 03 予算費目 01 所属コード 002106000 事業 01 (担当課) 交通政策課 (責任者) 刑部 晶彦 (基準日) R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- 浜松21世紀都市交通会議等運営事業
  - ・ 浜松21世紀都市交通会議にて、総合交通計画の見直しについて協議・検討を行い、令和2年度末に公表する。
  - ・ 地域公共交通会議にてICTを用いた地域バス等の実証運行について、効果検証と実証運行終了後の運行方法について協議、検討を行う。
- 総合交通計画推進事業
  - ・ 浜松市都市計画マスタープランが示す将来都市構造との整合を図るとともに、バス運転手不足など公共交通を取り巻く新たな課題に対応するため、浜松市総合交通計画の見直しを進め、令和2年度に公表する。
  - ・ 内陸部への企業集積に伴う交通集中緩和のため地域要望のある、浜北駅からの新規路線バスについて、関係者や交通事業者と引き続き検討を行う。
  - ・ 道路改良事業等の実施に向け、自動車交通量の量的変化の把握や推計等に活用する統計データとするため、都心部主要交差点における交通量調査を行う。
  - ・ 国、民間が研究開発を進めている次世代交通システムについて情報収集を行う。

#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・ 浜松21世紀都市交通会議を2回、地域公共交通会議を3回、地域公共交通活性化研究会を3回開催した。
- ・ 地域公共交通会議でICTを用いた地域バス等の実証運行について、効果検証と実証運行終了後の運行方法について協議、検討を行った。
- ・ 浜松市都市計画マスタープランが示す将来都市構造との整合を図るとともに、バス運転手不足など公共交通を取り巻く新たな課題に対応するため、浜松市総合交通計画の見直しを進め、令和2年度に公表した。
- ・ 内陸部への企業集積に伴う交通集中緩和のため地域要望のある、浜北駅からの新規路線バスについて、関係者や交通事業者と引き続き検討した。
- ・ 道路改良事業等の実施に向け、自動車交通量の量的変化の把握や推計等に活用する統計データとするための、都心部主要交差点における交通量調査は、コロナ禍によりR3に延期となった。
- ・ 国、民間が研究開発を進めている次世代交通システムについて情報収集を行った。
- ・ 国が研究開発を進めている自動運転技術を活用した交通システムについて情報収集を行うとともに、地域バス等へのICT導入での実証運行を行い、自動運転プロジェクトへ参画した。

コロナ禍による外出自粛により、交通量調査に影響が出た。

#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・ 浜松市都市計画マスタープランの将来都市構造への整合や公共交通を取り巻く新たな課題に対応するため、令和2年の公表を目指し浜松市総合交通計画の見直しを進めた。
- ・ 内陸部への企業集積に伴う交通集中緩和のため地域要望のある、浜北駅からの新規路線バスについて、関係者や交通事業者と引き続き検討を行った。

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・ 浜松市都市計画マスタープランの将来都市構造への整合や公共交通を取り巻く新たな課題に対応するため、令和2年度に策定された浜松市総合交通計画のアクションプログラムを推進する。
- ・ 道路改良事業等を実施に向け、自動車交通量の量的変化の把握や自動車交通流の推計等に活用する統計データとしていくために、都心部の主要交差点における交通量調査を行う。
- ・ 将来の交通ネットワークの検討にあたっては、国や民間が研究開発を進めている自動運転技術を活用した次世代交通システム等について情報収集を行うとともに、地方への展開を見据え社会実験等があれば積極的に参画を図る。

#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目№153】

- 浜松21世紀都市交通会議等運営事業
  - ・ 浜松21世紀都市交通会議にて、総合交通計画のアクションプログラムについて協議・検討を行う。
- 総合交通計画推進事業
  - ・ 浜松市都市計画マスタープランが示す将来都市構造との整合を図るとともに、バス運転手不足など公共交通を取り巻く新たな課題に対応するため、令和2年度に策定した浜松市総合交通計画のアクションプログラムを推進する。
  - ・ 内陸部への企業集積に伴う交通集中緩和のため地域要望のある、浜北駅からの新規路線バスについて、関係者や交通事業者と引き続き検討を行う。
  - ・ 道路改良事業等の実施に向け、自動車交通量の量的変化の把握や推計等に活用する統計データとするために、都心部の主要交差点における交通量調査を行う。
  - ・ 国、民間が研究開発を進めている次世代交通システムについて情報収集を行う。



# 事業シート (事業名) 02 公共交通推進事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

地球環境問題、高齢化社会、交通渋滞の課題に対応するため、使いやすい公共交通ネットワークの構築を図り、市民生活に必要な移動サービスを提供する。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H13	—	一般会計	自治事務(その他)	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法

### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	III-4(1)イ						
重点戦略	○	(戦略項目)	152	195					

### (4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑬気候変動								
事業とゴールの関連性	高齢化社会、交通渋滞の課題に対応するため、使いやすい公共交通ネットワークの構築を図ることで、円滑で利便性の高い交通サービスが提供でき、生活に必要な施設への移動手段を確保するとともに、安全で容易に利用できる持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。								

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	314,894	309,352	577,196			
	決算	287,286	292,423				
	国・県支出						
	市債						
	その他	3,994	6,867	279,723			
一般財源		283,292	285,556	297,473			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		32,900	25,900	18,200			
人工	正規	4.7	3.7	2.6			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		320,186	318,323	595,396			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
主要な駅、バス停の利用者(千人)	III-4(1)イ	152	目標	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200	約27,200
			実績	27,680	R4.4項確定				
JR弁天島駅のバリアフリー化(%)		195	目標	10	4	12	100	100	100
			実績	4	4				
遠鉄八幡駅のバリアフリー化(%)		195	目標	10	4	53	100	100	100
			実績	2	4				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						



(管理番号)

令和3年度	分野 03	基本政策 03	政策 03	予算費目 01	所属コード 002106000	事業 02	(担当課) 交通政策課	(責任者) 刑部 晶彦	(基準日) R3.7.1
-------	----------	------------	----------	------------	--------------------	----------	----------------	----------------	-----------------

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- 身近な公共交通である路線バスを補助により維持すると共に、利用実態に合わせた改善を運行者と進める。
  - ・主に地域の幹線となるバス路線に対して、国、県等と協調して補助金を交付する。(2路線)
  - ・地域生活に必要なバス路線を自主運行バスとして運行する。(北遠本線、阿多古線)※R2.10月以降:阿多古は地域バスへ移行
- 市民生活に必要なバス路線等の公共交通について、地域の実情に合う運行形態を目指す地域公共交通網形成計画の策定を行い、令和2年度末に公表する。
- 12地域で運行している地域バスについて改善運行策を検討し、生活交通の確保に努める。
- 交通結節機能の強化を図るため交通事業者が整備したサイクル&ライド用駐輪場及びパーク&ライド用駐車場に対し、補助金の交付を行う。
- 公共交通空白地有償運送を実施している団体に対して運送の欠損金及び設備更新事業の一部に対して補助金を交付し、交通空白地域等での移動手段を確保する。(2団体)
- UDタクシーを導入する交通事業者等に対し、車両導入促進事業費として国の補助採択と協調し補助金を交付する。
- 鉄道事業者の行う駅のバリアフリー化施設整備事業に対して補助金を交付するとともに、JR弁天島駅エレベーター等整備に対し、令和元年度の駅構造調査の結果を基に、整備への方針を決定し、交通事業者との協議を進める。

#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1)事業の成果と課題

指標の達成度

- 身近な公共交通である路線バスを補助により維持すると共に、利用実態に合わせた改善を運行者と進めた。
  - ・主に地域の幹線となるバス路線に対して、国、県等と協調して補助金を交付する。(2路線)
  - ・地域生活に必要なバス路線を自主運行バスとして運行する。(北遠本線、阿多古線)※R2.10月以降:阿多古は地域バスへ移行
- 市民生活に必要なバス路線等の公共交通について、地域の実情に合う運行形態を目指す地域公共交通網形成計画の策定を行い、令和2年度末に公表した。
- 12地域で運行している地域バスについて改善運行策を検討し、生活交通の確保に努めた。
- 公共交通空白地有償運送を実施している団体に対して運送の欠損金及び設備更新事業の一部に対して補助金を交付し、交通空白地域等での移動手段を確保した。(2団体)
- UDタクシーを導入する交通事業者等に対し、車両導入促進事業費として国の補助採択と協調し補助金を交付した。(導入台数20台)

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

コロナ禍

#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- 身近な公共交通である路線バスを補助により維持すると共に、利用実態に合わせた改善を運行者と進めた。
  - ・主に地域の幹線となるバス路線に対して、国、県等と協調して補助金を交付する。(2路線)
  - ・地域生活に必要なバス路線を自主運行バスとして運行する。(北遠本線、阿多古線)
- 市民生活に必要なバス路線等の公共交通について、地域の実情に合う運行形態を目指す地域公共交通網形成計画の策定を行い、令和2年度末に公表した。
- 12地域で運行している地域バスについて改善運行策を検討し、生活交通の確保に努めた。
- 公共交通空白地有償運送を実施している団体に対して運送の欠損金及び設備更新事業の一部に対して補助金を交付し、交通空白地域等での移動手段を確保した。(2団体)
- UDタクシーを導入する交通事業者等に対し、車両導入促進事業費として国の補助採択と協調し補助金を交付した。(導入台数20台)

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

- ・令和2年度に策定された地域公共交通網形成計画について、アクションプログラムを推進する。
- ・地域バスについて、効率的で持続可能な運行ができるよう、地域交通検討会において利用実態や地域の実情に応じた運行計画を策定し、改善運行を進める。
- ・ICT予約システムの導入による公共交通空白地有償運送において利用状況を分析し、実証運行終了後の運行方法について検討する。
- ・ICT運行システムの導入による引佐地域バスの利用状況を分析し、他地域への導入への検討を行うとともに、地域バスの利用者増加を図るとともに、実証運行後の運行方法について検討する。
- ・鉄道駅及びバス停への整備済みのサイクル&ライド用駐輪場、パーク&ライド用駐車場については、活用状況を確認するとともに、新規の整備への用地確保については交通事業者と連携し交通結節点強化による利便性向上を図っていく。

#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

【R1-R4重点戦略項目 N9152、195】

- 身近な公共交通である路線バスを補助により維持すると共に、利用実態に合わせた改善を運行者と進める。
  - ・主に地域の幹線となるバス路線に対して、国、県等と協調して補助金を交付する。(2路線)
  - ・地域生活に必要なバス路線を自主運行バスとして運行する。(北遠本線)
- 市民生活に必要なバス路線等の公共交通について、令和2年度に策定された地域公共交通網形成計画のアクションプログラムを推進する。
- 13地域で運行している地域バスについて改善運行策を検討し、生活交通の確保に努める。
- 交通結節機能の強化を図るため交通事業者が整備したサイクル&ライド用駐輪場及びパーク&ライド用駐車場に対し、補助金交付を行う。
- 公共交通空白地有償運送を実施している団体に対して運送の欠損金及び設備更新事業の一部に対して補助金を交付し、交通空白地域等での移動手段を確保する。(2団体)
- UDタクシーを導入する交通事業者等に対し、車両導入促進事業費として国の補助採択と協調し補助金を交付する。
- 鉄道事業者の行う駅のバリアフリー化施設整備事業に対して補助金を交付し、整備方針を決定し、交通事業者との協議を進める。

## 補助シート (重点戦略 事業工程表)

(事業名) 02 公共交通推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
152	主要な駅・バス停の利用者 約27,200千人	主要な駅・バス停の利用者 約27,200千人	主要な駅・バス停の利用者 約27,200千人	主要な駅・バス停の利用者 約27,200千人
195	駅のバリアフリー化 【JR弁天島駅】 ・交通事業者との協議 ・駅構造調査 【遠鉄八幡駅】 ・交通事業者との協議	駅のバリアフリー化 【JR弁天島駅】 ・交通事業者との協議 【遠鉄八幡駅】 ・交通事業者との協議 ・詳細設計	駅のバリアフリー化 【JR弁天島駅】 ・交通事業者との協議 【遠鉄八幡駅】 ・工事着手	駅のバリアフリー化 【JR弁天島駅】 ・詳細設計 【遠鉄八幡駅】 ・完成



# 事業シート (事業名) 03 天竜浜名湖鉄道経営支援事業

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

沿線住民の生活基盤となっている天竜浜名湖鉄道を存続し、安定した沿線住民へのサービスを提供するために経営支援を行う。

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市天竜浜名湖鉄道経営助成基金に関する条例

### (3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	III-2(2)イ						
重点戦略	-	(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑬気候変動								
事業とゴールの関連性	天竜浜名湖鉄道(株)の経営安定化と、安全な列車運行のため必要な施設整備を図ることで、円滑で利便性の高い交通サービスが提供でき、生活に必要な施設への移動手段を確保するとともに、安全で容易に利用できる持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。								

## 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	98,187	190,175	96,933			
	決算	98,187	190,174				
	国・県支出		60,000				
	市債						
	その他	28,497	32,424	30,003			
	一般財源	69,690	97,750	66,930			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		4,260	4,260	10,640			
人工	正規	0.3	0.3	1.2			
	再任用(h31)	0.6	0.6				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.8			
年間経費(予算又は決算+A+B)		102,447	194,434	107,573			

## 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
利用者数、毎年2%増加(万人)			目標	156.3	157.4	158.5	159.6	160.8	-
			実績	151.3	R4.4頃確定				
旅客収入、毎年2%増加(千円)			目標	417,325	422,125	427,039	432,065	437,207	-
			実績	411,158	R4.4頃確定				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- 経営助成事業(補助金)
  - ・天竜浜名湖鉄道(株)の経営安定化を図るとともに、安全な列車運行のため必要な施設整備に対する助成を行う。
  - ・平成30年度に天竜浜名湖鉄道(株)が策定した経営計画に基づき支援を行うもの。  
(経営計画:令和元年度～5年度における、経営助成及び施設整備費の計画)
  - ・負担率は、県:1/2 沿線市町1/2。
  - ・平成30年度に天竜浜名湖線市町会議で策定した、第3次地域公共交通総合連携計画に基づき、県及び沿線市町が協力し、天浜線の利用促進のためのイベント開催などにより支援を行う。
- 魅力向上事業
  - ・事業の制度化を行い、天浜線の利用促進や沿線地域の交流人口の増加を図り、地域の活性化を目指す。
- 天竜浜名湖鉄道経営助成基金積立金
  - ・天竜浜名湖鉄道の経営支援を行うための資金管理を行う。



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

- (1) 事業の成果と課題**
- 指標の達成度
- ・経営計画に基づき、天竜浜名湖鉄道株式会社へ経営助成及び自然災害復旧費支援のための基金積立を行った。
  - ・コロナ禍により大幅な利用者、収入減。
    - ・輸送人員 H29:1,625千人、H30:1,546千人、R1:1,513千人
    - ・旅客収入 H29:432,079千円、H30:417,142千円、R1:411,158千円
- (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)**
- コロナ禍による外出自粛



#### 6 事業の見直し (Action)

- (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)**
- 大項目  小項目  /  事業費  人工
- 天竜浜名湖鉄道(株)が策定した経営計画に基づき経営助成及び自然災害復旧にかかる基金積立を行ったことにより、経営安定化に寄りました。
- 第3次地域公共交通総合連携計画に基づき、県や沿線市町と協力し天竜浜名湖鉄道に対する利用促進へのイベント実施する予定であったが、コロナ禍により、計画通りの実施が困難となったため、市町会議構成員等からの提案に基づき実施した新たな取り組みに対して支援をおこなった。
- ・天竜浜名湖鉄道(株)、教育委員会と協力し、希望のあった小学校の低学年(1～3年生)に対し、1日乗車券を配布し、新たな地元の需要獲得や啓発に努めた。
- (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)**
- 大項目  小項目  /  事業費  人工
- ・コロナ禍を受け、沿線市町の首長等が平成30年度総会で、天竜浜名湖鉄道(株)が策定した令和元年度からの経営計画(R1～R5)の変更、同会社への支援について検討する。
  - ・ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた輸送人員、旅客収入の増加を図っていく。



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- 経営助成事業(補助金)
  - ・天竜浜名湖鉄道(株)の経営安定化と、安全な列車運行のため必要な施設整備を図ることに対する助成を行う。
  - ・負担率は、県:1/2 沿線市町1/2。  
(経営計画:令和元～5年度における、経営助成及び施設整備費の計画)
  - ・天竜浜名湖鉄道(株)の実施した自然災害等の復旧費に対し助成を行う。
  - ・天竜浜名湖線市町会議構成員が協力し、天浜線の利用促進のための支援を行う。
- 天竜浜名湖鉄道経営助成基金積立金
  - ・天竜浜名湖鉄道の経営資金を助成するため必要な資金である天竜浜名湖鉄道経営助成基金を活用した自然災害等の復旧費を支援するとともに、基金の管理を行う。

# 事業シート (事業名) 04 交通政策推進運営経費(一般諸経費のみ)

## 1 基本情報

### (1) 事業目的・事業対象

--

### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

### (3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

### (4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

## 2 事業コストの状況(千円)

事業費(千円)		R1	R2	R3	R4	R5	R6
		(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
事業費(千円)	予算	9,912	21,554	8,073			
	決算	9,912	19,679				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	9,912	19,679	8,073			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	16,140	15,440	21,000			
人工		2.1	2.0	3.0			
		0.4	0.4				
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		26,052	35,119	29,073			

## 3 事業の指標の状況 (R4: 重点戦略最終年度、R6: 総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)  
03 03 03 01 002106000 04 交通政策課 刑部 晶彦 R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

# 政策シート

政策名 **03 はままつ流の多様な暮らしに対応した「安全・安心・快適」な交通を目指して**

予算費目名 **03 駐車場事業特別会計**

## 1 基本情報

### (1) 総合計画体系

分野 **03 安全・安心・快適**

<b>理想の姿 (30年後)</b>	◆どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。
<b>政策の柱 (10年後)</b>	◆災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。 ◆居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

基本政策 **03 市民が集う活力ある都市づくり**

### (2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

地域特性に対応し、過度に自動車に依存しない、公共交通を基軸とした交通行動への転換を図るための交通施策を複合的に実施することにより、安全・安心で快適に移動することができる都市づくりを進める。このため、市営5駐車場を供用することにより、中心市街地において発生する交通渋滞及び違法駐車を抑制し、中心市街地の機能の向上とよりよい交通環境の形成を図る。一方、市が駐車場を運営する必要性が希薄になっていることから、現駐車場経営戦略(令和2年度～令和4年度)に基づき、令和5年度以降の中長期的な駐車場運営のため、市営駐車場の「あり方」を収支見込みや役割を改めて総合的に検証し、駐車場別の最終方針を検討していく。

### (3) 関連するSDGsのゴール

①都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	561,973	463,000	368,980			
決算	548,262	451,951				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	7,000	7,000	10,360			
年間経費(予算又は決算+A+B)	555,262	458,951	379,340			

## 3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
廃止・売却する駐車場	箇所	目標				4		
		実績						
		目標						
		実績						

## 4 前年度(令和2年度)政策評価

### (1) 前年度(令和2年度)実施内容

地域特性に対応し、過度に自動車に依存しない、公共交通を基軸とした交通行動への転換を図るための交通施策を複合的に実施することにより、安全・安心で快適に移動することができる都市づくりを進める。このため、市営5駐車場を供用することにより、中心市街地において発生する交通渋滞及び違法駐車を抑制し、中心市街地の機能の向上とよりよい交通環境の形成を図った。一方、市が駐車場を運営する必要性が希薄になっていることから、現駐車場経営戦略に基づき、令和5年度以降の中長期的な駐車場運営のため、収支見込みや役割について総合的な検証を行った。

### (2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<b>&lt;進捗&gt;</b>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市営5駐車場(新川北・新川南・駅北・ザザシティ・駅南地下)の管理運営を指定管理者制度(利用料金制)により行った。</li> <li>・令和3年度に駐車場別の最終方針を検討するため、2駐車場(駅北・ザザシティ)の現況調査、市中心部の駐車場需給バランス調査等を実施した。</li> <li>・施設機能を維持するため、各駐車場の修繕を行った。</li> </ul>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	駐車場事業	—	—	—		379,340	368,980	1.4			0.2	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						379,340	368,980	1.4			0.2	

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800



(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	03	03	002106000	01	交通政策課	刑部 晶彦	R3.7.1

## 事業シート (事業名) 01 駐車場事業

### 1 基本情報

#### (1) 事業目的・事業対象

中心市街地において発生する交通渋滞及び違法駐車を抑制し、中心市街地の機能の向上とよりよい交通環境の形成を図る。

#### (2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S39	R4	特別会計	自治事務(その他)	

#### (3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

#### (4) 関連するSDGsのゴール

①都市									
事業とゴールの関連性	市営駐車場を供給することにより、中心市街地での交通渋滞や違法駐車抑制が図られ、中心市街地での機能向上と、よりよい交通環境が整えられ、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、安全で容易に利用できる持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。								

### 2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	561,973	463,000	368,980			
	決算	548,262	451,951				
	国・県支出						
	市債						
	その他	8	3	5			
	一般財源	391,546	390,665	368,975			
	一般会計繰入金	156,708	61,283				
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	7,000	7,000	10,360			
人工	正規	1.0	1.0	1.4			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.2			
年間経費(予算又は決算+A+B)		555,262	458,951	379,340			

### 3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
廃止・売却する駐車場(箇所)			目標				4		
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	03	03	03	03	002106000	01	交通政策課	刑部 晶彦	R3.7.1

#### 4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・市営5駐車場(新川北・新川南・駅北・ザザシティ・駅南地下)の管理運営を指定管理者制度(利用料金制)により行った。
- ・駐車場別の最終方針を検討するため、2駐車場(駅北・ザザシティ)の現況調査、市中心部の駐車場需給バランス調査等を実施した。
- ・施設機能を維持するため、各駐車場の修繕を行った。



#### 5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

##### (1) 事業の成果と課題

指標の達成度

市営駐車場の最終方針を検討するため、各種調査を行った。  
 コロナ禍の中、駐車場サービスの提供を継続した

##### (2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

コロナ禍に伴う来街者の減により、各駐車場の収入が大幅に悪化した。



#### 6 事業の見直し (Action)

##### (1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目  小項目  /  事業費  人工

令和4年度までの現指定管理期間中に市営駐車場の最終方針を決定・実施するための基礎調査を実施した

##### (2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目  小項目  /  事業費  人工

各種調査の結果に基づき、最終方針の検討決定し、実施する。



#### 7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ・市営5駐車場(新川北・新川南・駅北・ザザシティ・駅南地下)について、引き続き指定管理者制度(利用料金制)により管理運営を行う。
- ・施設の機能を維持するため、各駐車場の修繕などを行う。
- ・令和4年度までの駐車場経営戦略の期間を市営駐車場の「あり方」を収支見込みや役割を改めて総合的に検証し、検討し、実施していく。